

米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針

令和 2 年 3 月

農林水産省

目 次

| | |
|--------------------------------------|---|
| 第1 米穀の需給及び価格の安定に関する基本方針 | 1 |
| 第2 米穀の需給の見通しに関する事項 | 1 |
| 1 平成30/令和元年の需要実績 | 1 |
| (1) 需要実績の対象期間及び対象米穀 | |
| (2) 算出方法 | |
| (3) 全国の需要実績(確定値) | |
| 2 全国の令和元/2年及び令和2/3年の需要見通し(推計値) | 2 |
| 3 令和元/2年及び令和2/3年の需給見通し | 4 |
| (1) 令和元/2年の需給見通し | |
| (2) 令和2/3年の需給見通し | |
| 第3 米穀の備蓄の目標数量その他米穀の備蓄の運営に関する事項 | 5 |
| 1 備蓄運営の基本的な考え方 | 5 |
| 2 令和元/2年の備蓄運営 | 6 |
| 第4 米穀の輸入数量及びその種類別の数量に関する事項 | 6 |
| 1 令和元会計年度の輸入状況 | 7 |
| 2 令和2会計年度の輸入方針 | 7 |
| 参考統計表 | 8 |

【米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の変更について】

主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律(平成6年法律第113号)第4条第1項に基づき、令和元年7月31日に策定した「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」を、主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律施行規則(平成7年農林水産省令第17号)第1条に基づき見直し、同法第4条第6項により変更するものです。

第1 米穀の需給及び価格の安定に関する基本方針

米穀の需給及び価格の安定を図るため、米穀の需給の適確な見通しを策定し、これに基づき、整合性をもって、米穀の需給の均衡を図るための生産調整の円滑な推進及び米穀の供給が不足する事態に備えた備蓄の機動的な運営を行います。

このうち、米穀の生産調整の円滑な推進については、主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）の枠組みの下で、平成30年産以降は、平成29年6月9日に閣議決定された「未来投資戦略2017」を踏まえ、行政による都道府県別の生産数量目標等の配分は行わないこととし、国が策定する米穀の需給の見通し等の情報を踏まえつつ、生産者や集荷業者・団体が中心となって円滑に需要に応じた生産に取り組むとともに、水田の有効活用により自給率向上を図るため、主食用米の需要拡大、米粉用米や飼料用米等の生産・利用の拡大に取り組みます。

また、国が行う備蓄については、米穀の生産量の減少によりその供給が不足する事態に備え、毎年6月末時点での在庫量100万トン程度を現行の適正水準として保有します。

第2 米穀の需給の見通しに関する事項

1 平成30/令和元年の需要実績

(1) 需要実績の対象期間及び対象米穀

米穀の需要実績については、前年7月から当年6月までの1年間について算出することとしています。

また、需要実績の算定の対象となる米穀は、国内で生産された水稲うるち米及び水稲もち米から、需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領（平成26年4月1日付け25生産第3578号農林水産省生産局長通知）第4及び第5で定める加工用米その他主食用に充当されない米穀を除いた米穀（以下「主食用米等」という。）としています。

(2) 算出方法

需要実績は、平成30年産主食用米等生産量、平成30年6月末民間在庫量及び令和元年6月末民間在庫量を基に算出します。

表1 平成30/令和元年の需要実績の算出方法

$$\text{需要実績} = \text{①} + \text{②} - \text{③}$$

① 平成30年産主食用米等生産量

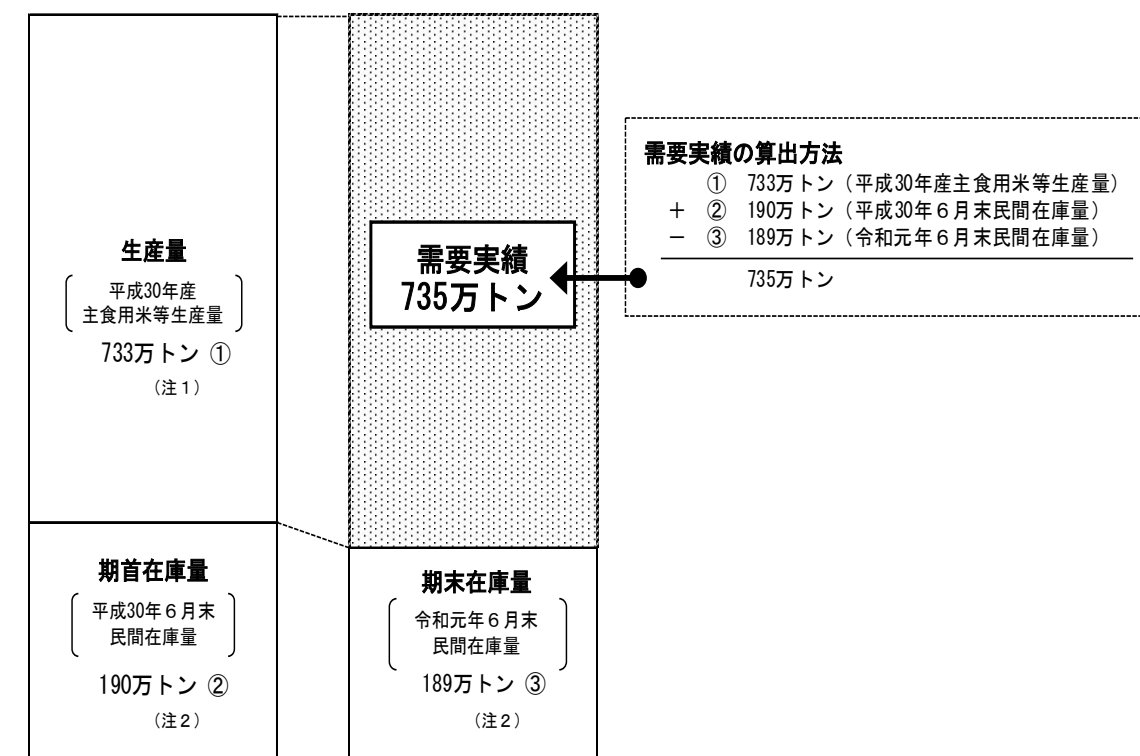
② 平成30年6月末民間在庫量

③ 令和元年6月末民間在庫量

(3) 全国の需要実績（確定値）

前記方法により算出した平成 30/令和元年（平成 30 年 7 月から令和元年 6 月までの 1 年間）の需要実績（確定値）は、図 1 のとおり 735 万トンとなります。

図 1 平成 30/令和元年の需要実績



注1：主食用米等生産量は、平成30年産米の水稲収穫量（主食用）（「作物統計」農林水産省大臣官房統計部）である。

注2：6月末在庫量は、玄米の取扱数量が年間500トン以上の届出事業者の在庫量に10a以上の作付生産者の在庫量推計値を加えたものである。

注3：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

2 全国の令和元/2年及び令和2/3年の需要見通し（推計値）

全国の需要見通しについては、平成30年11月の基本指針において我が国の人口が減少局面に入ったことを踏まえて採用した1人当たり消費量（推計値）に人口（推計値）を乗じる手法により、算出することとします。

具体的には、

- ① 平成8/9年から平成30/令和元年までの需要実績をそれぞれ当該年の人口で除し、各年の1人当たり消費量を算出
- ② ①で算出した値を用いたトレンド（回帰式）で、令和元/2年（令和元年7月から令和2年6月まで）及び令和2/3年（令和2年7月から令和3年6月まで）の1人当たり消費量（推計値）を算出
- ③ ②で算出した値に令和元年及び令和2年の人口（推計値）を乗じて算出することとします。結果は図2及び表2のとおりとなります。

図2 令和元/2年及び令和2/3年の需要見通しの算出方法

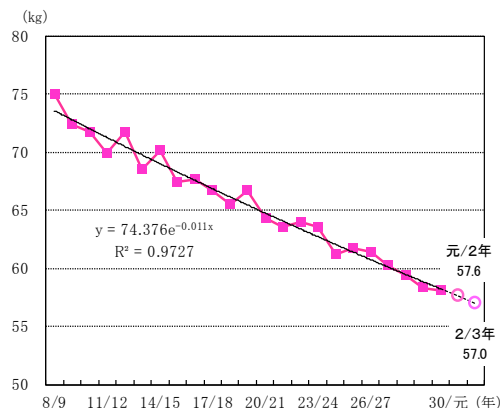
① 平成8/9年から平成30/令和元年までの1人当たり消費量を算出

| 年 | 需要実績 ① | 人口 ② | 1人当たり消費量 ①/② |
|-------|-----------|---------|-----------------|
| | 万トン | 千人 | kg |
| 8/9 | 943.8 | 125,859 | 75.0 |
| 9/10 | 912.9 | 126,157 | 72.4 |
| 10/11 | 907.3 | 126,472 | 71.7 |
| 11/12 | 885.9 | 126,667 | 69.9 |
| 12/13 | 911.5 | 126,926 | 71.8 |
| 13/14 | 872.1 | 127,316 | 68.5 |
| 14/15 | 894.7 | 127,486 | 70.2 |
| 15/16 | 861.6 | 127,694 | 67.5 |
| 16/17 | 865.4 | 127,787 | 67.7 |
| 17/18 | 851.7 | 127,768 | 66.7 |
| 18/19 | 837.5 | 127,901 | 65.5 |
| 19/20 | 854.5 | 128,033 | 66.7 |
| 20/21 | 823.6 | 128,084 | 64.3 |
| 21/22 | 814.1 | 128,032 | 63.6 |
| 22/23 | 820.0 | 128,057 | 64.0 |
| 23/24 | 813.3 | 127,834 | 63.6 |
| 24/25 | 781.1 | 127,593 | 61.2 |
| 25/26 | 786.6 | 127,414 | 61.7 |
| 26/27 | 782.5 | 127,237 | 61.5 |
| 27/28 | 766.2 | 127,095 | 60.3 |
| 28/29 | 754.0 | 126,933 | 59.4 |
| 29/30 | 739.6 | 126,706 | 58.4 |
| 30/元 | 734.6 | 126,443 | 58.1 |

注：人口は、総務省「人口推計」の各年10月1日現在の値である。

② 令和元/2年及び令和2/3年の1人当たり消費量（推計値）を算出

| 年 | x | 1人当たり消費量(y) |
|-------|----|-------------|
| 8/9 | 1 | 75.0 |
| 9/10 | 2 | 72.4 |
| 10/11 | 3 | 71.7 |
| 11/12 | 4 | 69.9 |
| 12/13 | 5 | 71.8 |
| 13/14 | 6 | 68.5 |
| 14/15 | 7 | 70.2 |
| 15/16 | 8 | 67.5 |
| 16/17 | 9 | 67.7 |
| 17/18 | 10 | 66.7 |
| 18/19 | 11 | 65.5 |
| 19/20 | 12 | 66.7 |
| 20/21 | 13 | 64.3 |
| 21/22 | 14 | 63.6 |
| 22/23 | 15 | 64.0 |
| 23/24 | 16 | 63.6 |
| 24/25 | 17 | 61.2 |
| 25/26 | 18 | 61.7 |
| 26/27 | 19 | 61.5 |
| 27/28 | 20 | 60.3 |
| 28/29 | 21 | 59.4 |
| 29/30 | 22 | 58.4 |
| 30/元 | 23 | 58.1 |
| 元/2 | 24 | 57.6 (推計値) |
| 2/3 | 25 | 57.0 (推計値) |



③ 令和元/2年及び令和2/3年の1人当たり消費量（推計値）に令和元年及び令和2年の人口（推計値）を乗じて需要見通しを算出

| | | |
|-----------------|-----------|-----------|
| | 元/2年 | 2/3年 |
| 1人当たり消費量(推計値) ① | 57.6kg | 57.0kg |
| | 元年 | 2年 |
| 人口(推計値) ② | 126,140千人 | 125,691千人 |
| | 元/2年 | 2/3年 |
| 需要見通し ①×② | 727.0万トン | 716.8万トン |

注1：人口（推計値）は、令和元/2年は、「人口推計（総務省令和元年10月公表）」の総人口（令和元年10月1日現在（概算値）。以下「令和元年10月現在人口」という。）、令和2/3年は、令和元年10月現在人口に、「日本の将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所平成29年4月公表）」の令和元年10月1日から令和2年10月1日までの総人口（出生中位・死亡中位推計）の減少率を乗じて算出した値。

注2：図中の需要見通しは、1人当たり消費量（推計値）の実数に、人口（推計値）の実数を乗じて算出した値のため、図中の1人当たり消費量（推計値）（小数点第2位を四捨五入）に人口（推計値）（小数点第1位を四捨五入）を乗じて算出した値とは一致しない。

表2 令和元/2年及び令和2/3年の需要見通し（推計値）

| | |
|--------|--------|
| 令和元/2年 | 727万トン |
| 令和2/3年 | 717万トン |

3 令和元/2年及び令和2/3年の需給見通し

(1) 令和元/2年の需給見通し

令和元/2年の需給見通しは、表3のとおりです。

① 供給量

ア 令和元年6月末の民間在庫量（確定値）は、189万トンです。

イ 令和元年産主食用米等の生産量は、726万トン（令和元年産水稲の収穫量（主食用））です。

ウ この結果、令和元/2年の主食用米等の供給量の合計の見通しは、915万トンとなります。

② 需要量

2により算出した主食用米等の需要量の見通しは、727万トンです。

③ 令和2年6月末の民間在庫量

令和2年6月末の民間在庫量は、①の供給量及び②の需要量から算出して187万トンと見通されます。

(2) 令和2/3年の需給見通し

令和2/3年の需給見通しは、表3のとおりです。

① 供給量

ア 令和2年6月末の民間在庫量は、(1)の③により187万トンと見通されます。

イ 令和2年産における主食用米等生産量の見通しは、令和3年6月末民間在庫量が安定供給を確保できる水準（180万トン）となる709万トンから主食用米等の需要量の見通しと同水準の717万トンまでと8万トンの幅をもって設定します。

ウ この結果、令和2/3年の主食用米等の供給量の合計の見通しは、897万トンから904万トンまでとなります。

② 需要量

2により算出した主食用米等の需要量の見通しは、717万トンです。

③ 令和3年6月末の民間在庫量

令和3年6月末の民間在庫量は、①の供給量及び②の需要量から算出して180万トンから187万トンまでと見通されます。

表3 令和元/2年及び令和2/3年の主食用米等の需給見通し

(単位：万トン)

| | | | |
|--------|-----------------|-------------|-----|
| 令和元/2年 | 令和元年6月末民間在庫量 | A | 189 |
| | 令和元年産主食用米等生産量 | B | 726 |
| | 令和元/2年主食用米等供給量計 | $C = A + B$ | 915 |
| | 令和元/2年主食用米等需要量 | D | 727 |
| | 令和2年6月末民間在庫量 | $E = C - D$ | 187 |

| | | | |
|--------|-----------------|-------------|---------|
| 令和2/3年 | 令和2年6月末民間在庫量 | E | 187 |
| | 令和2年産主食用米等生産量 | F | 709~717 |
| | 令和2/3年主食用米等供給量計 | $G = E + F$ | 897~904 |
| | 令和2/3年主食用米等需要量 | H | 717 |
| | 令和3年6月末民間在庫量 | $I = G - H$ | 180~187 |

注1：「主食用米等」の中には、主食用に供給されるもののほか、加工用途及び輸出用に供給されているものの一部が含まれている。

注2：令和元年産米については、高温等の影響により産地品種銘柄によっては精米歩留りが例年よりも低下している状況にあること等から、実際に主食用米等として流通する数量は減少する可能性がある。

注3：令和2年6月末民間在庫量については、収穫後の主食用米等が保管されている倉庫等において、台風による水濡れ等の被害があった主食用米等の数量を除いている。

注4：上記の需給見通しのほか、第4のSBS方式による輸入予定数量を最大とした数量が主食用米等として流通する見通し。

注5：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

第3 米穀の備蓄の目標数量その他米穀の備蓄の運営に関する事項

1 備蓄運営の基本的な考え方

国が行う備蓄は、米穀の生産量の減少によりその供給が不足する事態に備え、必要な数量の米穀を在庫として保有することとされていることから、毎年6月末時点での在庫量100万トン程度を現行の適正水準として、需給状況を踏まえつつ必要な数量の米穀を保有することとします。

備蓄運営手法については、平成23年度から棚上備蓄方式に移行しました。

棚上備蓄方式による備蓄運営の基本的な考え方は、

- ① 適正備蓄水準は100万トン程度（6月末）
- ② 国内産米を一定期間（5年間程度）備蓄
- ③ 備蓄米の買入れは、出来秋の市場価格に影響を与えないよう事前契約によることを基本に、公正性・透明性を確保する観点から一般競争入札により実施する。また、「総合的なTPP等関連政策大綱」（平成29年11月24日TPP等総合対策本部決定）に基づき、環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定（平成30年12月30日発効。以下「CPTPP協定」という。）に基づく豪州に対する国別枠の輸入量に相当する量の買入れを行う（上記に即して備蓄運営が行われれば、結果として基本的な買入数量が21万トン程度となる。）。
- ④ 備蓄米は、備蓄後に飼料用等の非主食用として販売

⑤ 大凶作や連続する不作などにより、民間在庫が著しく低下するなどの米が不足する時における備蓄米の放出については、食料・農業・農村政策審議会食糧部会において、放出の必要性に関し、作柄、在庫量、市場の状況、消費動向、価格及び物価動向等について総合的な観点から議論を行い、これを踏まえて、農林水産大臣が備蓄米の放出等を決定としています。

他方、毎年11月の基本指針の変更後、不作以外の災害等による緊急事態により、主食用米等の需給見通しに沿った「主食用米等供給量」の確保に支障が生じる場合であって、農林水産大臣が必要と認めるときは、その供給量の減少分を備蓄米により代替供給できることとします。

なお、備蓄運営手法については、棚上備蓄方式による備蓄運営や、経営所得安定対策の実施状況など、今後の米穀の需給をめぐる状況を踏まえつつ、毎年検証を行い、適正かつ効率的な備蓄運営に向けて、今後とも必要な見直しを行うものとします。

2 令和元/2年の備蓄運営

令和元年産米の備蓄米としての買入契約数量は19万トンとなりました。

備蓄米の年産更新については、適正備蓄水準が100万トン程度（6月末）であることを踏まえ、保有期間が一定の期間を経過している米については、必要に応じて品質確認を行い、11万トンから19万トンまでの範囲内で非主食用に販売することとします。

以上を踏まえた令和元/2年の備蓄運営は、表4のとおりです。

表4 令和元/2年の備蓄運営

(単位：万トン)

| | | |
|---------------|-----------------|-------|
| 令和元年6月末備蓄量 | A | 91 |
| 令和元年産米買入契約数量 | B | 19 |
| 令和元/2年非主食用販売量 | C | 11～19 |
| 令和2年6月末備蓄量 | $D = A + B - C$ | 91～99 |

第4 米穀の輸入数量及びその種類別の数量に関する事項

我が国は、平成7年度からガット・ウルグアイ・ラウンド農業合意に基づくミニマム・アクセス米の輸入を実施しており、この輸入は、「ガット・ウルグアイ・ラウンド農業合意の実施に伴う農業施策に関する基本方針」（平成5年12月17日閣議了解）の趣旨を踏まえつつ行うこととしています。また、これに加えて、平成30年度からCPTPP協定に基づく輸入を実施しています。いずれの輸入に当たっても、輸出国の輸出余力、国際相場等を勘案しながら適切に行うこととしています。

1 令和元会計年度の輸入状況

令和元会計年度においては、平成 31 年 3 月の基本指針に基づき、ガット・ウルグアイ・ラウンド農業合意に基づく 77 万玄米トン（うち SBS（売買同時契約）方式による輸入 10 万トン）及び CPTPP 協定に基づく 6 千トン（SBS 方式により運用する豪州に対する国別枠）の輸入を実施すべく、順次買い付けを行いました。その結果、ガット・ウルグアイ・ラウンド農業合意に基づく輸入について全量（SBS 方式による輸入は、うち 8 万トン）を買い付けるとともに、CPTPP 協定に基づく輸入については 3 千トンを買い付けました。

2 令和 2 会計年度の輸入方針

令和 2 会計年度の輸入予定数量は、ガット・ウルグアイ・ラウンド農業合意に基づく輸入については、WTO 農業交渉において新たな合意ができるまではミニマム・アクセス数量は平成 12 年度の水準が維持されることから、年間 77 万玄米トンとし、そのうち SBS 方式による輸入については、予定数量を年間 10 万トンとします。また、CPTPP 協定に基づく輸入については、SBS 方式により運用する豪州に対する国別枠として、予定数量を年間 6 千トンとします。

参考統計表

参考統計表目次

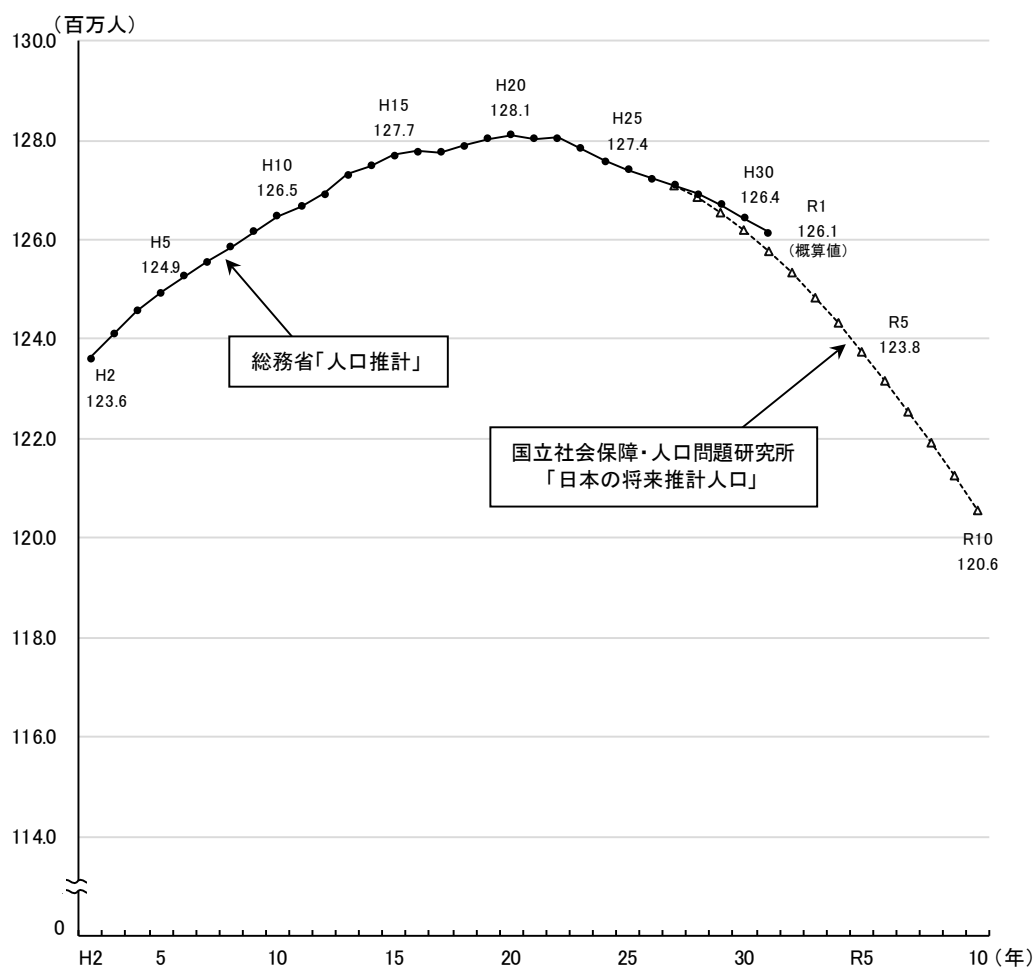
| | | |
|---|--|----|
| 1 | 1世帯当たりの米の購入数量（二人以上の世帯） | 8 |
| 2 | 我が国の人口の推移（各年10月1日現在） | 9 |
| 3 | 令和元年産水稻の作付面積及び収穫量 | 10 |
| 4 | 民間流通における6月末在庫の推移 | 11 |
| 5 | 政府備蓄米の6月末在庫の推移 | 12 |
| 6 | 政府備蓄米の在庫の状況（令和元年6月末現在） | 13 |
| 7 | ミニマム・アクセス米の販売状況（平成7年4月から令和元年10月末まで） （速報値） | 14 |
| 8 | 平成21/22年から平成30/令和元年までの需要実績 | 15 |

1 1世帯当たりの米の購入数量（二人以上の世帯）

| 年 | 月 | 購入数量(kg) | 対前年同月比(%) |
|----------------|----|----------|-----------|
| | | | |
| 2017 (平成29) | 1 | 3.92 | 93.8 |
| | 2 | 4.48 | 84.8 |
| | 3 | 5.09 | 92.2 |
| | 4 | 5.23 | 97.9 |
| | 5 | 4.84 | 89.1 |
| | 6 | 4.88 | 97.6 |
| | 7 | 4.86 | 90.2 |
| | 8 | 5.07 | 97.3 |
| | 9 | 7.78 | 112.6 |
| | 10 | 8.38 | 103.2 |
| | 11 | 6.26 | 100.8 |
| | 12 | 6.28 | 102.6 |
| 2018 (平成30) | 1 | 3.94 | 100.5 |
| | 2 | 4.75 | 106.0 |
| | 3 | 4.78 | 93.9 |
| | 4 | 4.89 | 93.5 |
| | 5 | 4.86 | 100.4 |
| | 6 | 5.18 | 106.1 |
| | 7 | 5.00 | 102.9 |
| | 8 | 4.98 | 98.2 |
| | 9 | 6.74 | 86.6 |
| | 10 | 9.14 | 109.1 |
| | 11 | 6.07 | 97.0 |
| | 12 | 5.49 | 87.4 |
| 2019 (平成31) | 1 | 3.91 | 99.2 |
| | 2 | 4.56 | 96.0 |
| | 3 | 4.74 | 99.2 |
| | 4 | 5.03 | 102.9 |
| (令和元) | 5 | 4.71 | 96.9 |
| | 6 | 4.84 | 93.4 |
| | 7 | 4.54 | 90.8 |
| | 8 | 4.59 | 92.2 |
| | 9 | 6.42 | 95.3 |
| | 10 | 8.16 | 89.3 |
| | 11 | 5.42 | 89.3 |
| | 12 | 5.35 | 97.4 |
| 2020(令和2) | 1 | 3.52 | 90.0 |

資料：総務省 家計調査

2 我が国の人口の推移（各年10月1日現在）



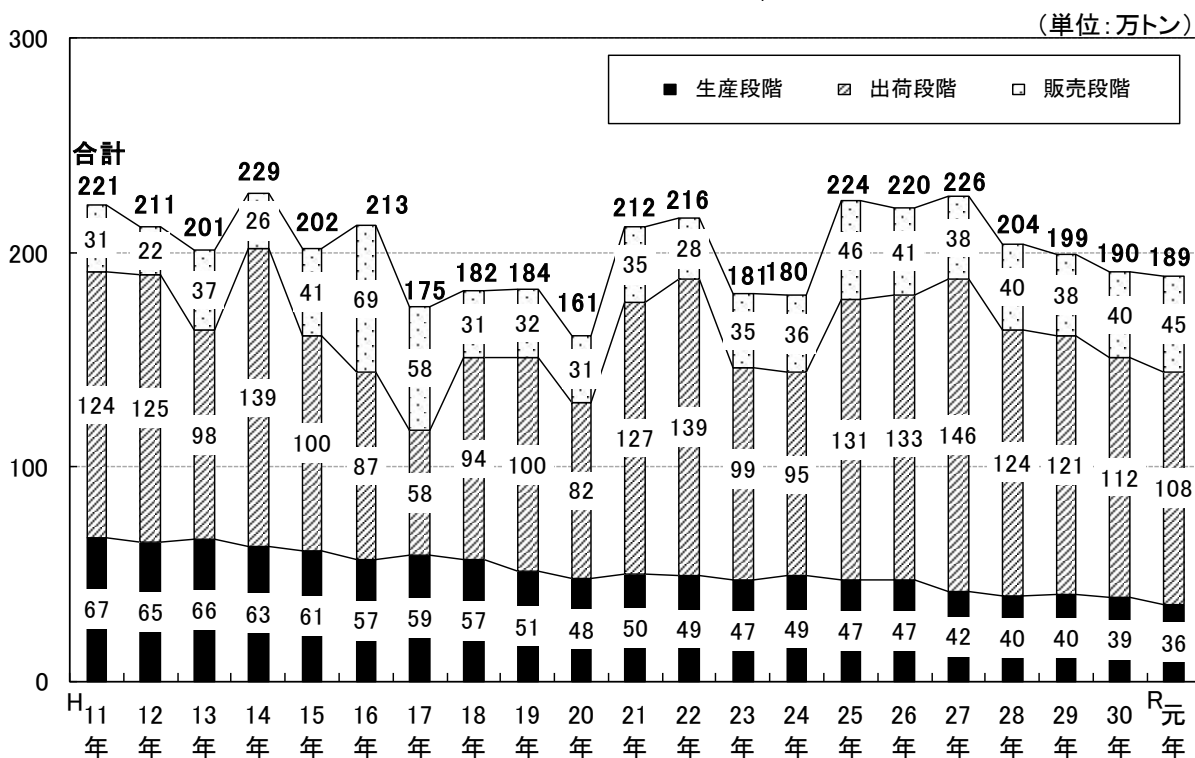
注：将来推計人口は、出生中位・死亡中位推計の値である。

3 令和元年産水稻の作付面積及び収穫量

| 全 国 都道府県 | 作付面積 (子実用) ① | 10a当たり 収量 ② | | (参考)農家等が使用している ふるい目幅で選別 | | | 収穫量 (子実用) ⑥=①×② | 参 考 | |
|-------------|--------------------|-------------------|-----|----------------------------|---------------------|---------------------|-----------------------|------------------|-----------------------|
| | | | | 10a当たり 収量 ③ | 10a当たり 平年収量 ④ | 作 況 指 数 ⑤=③/④ | | 主食用 作付面積 ⑦ | 収穫量 (主食用) ⑧=⑦×② |
| | | | | | | | | | |
| 全 国 (1) | 1,469,000 | 528 | 514 | 519 | 99 | 7,762,000 | 1,379,000 | 7,261,000 | |
| 北 海 道 (2) | 103,000 | 571 | 555 | 532 | 104 | 588,100 | 97,000 | 553,900 | |
| 青 森 (3) | 45,000 | 627 | 612 | 575 | 106 | 282,200 | 39,200 | 245,800 | |
| 岩 手 (4) | 50,500 | 554 | 538 | 522 | 103 | 279,800 | 48,300 | 267,600 | |
| 宮 城 (5) | 68,400 | 551 | 531 | 522 | 102 | 376,900 | 64,800 | 357,000 | |
| 秋 田 (6) | 87,800 | 600 | 577 | 554 | 104 | 526,800 | 74,900 | 449,400 | |
| 山 形 (7) | 64,500 | 627 | 611 | 580 | 105 | 404,400 | 56,900 | 356,800 | |
| 福 島 (8) | 65,800 | 560 | 540 | 529 | 102 | 368,500 | 60,400 | 338,200 | |
| 茨 城 (9) | 68,300 | 504 | 493 | 515 | 96 | 344,200 | 66,400 | 334,700 | |
| 栃 木 (10) | 59,200 | 526 | 514 | 529 | 97 | 311,400 | 54,900 | 288,800 | |
| 群 馬 (11) | 15,500 | 486 | 470 | 482 | 98 | 75,300 | 13,600 | 66,100 | |
| 埼 玉 (12) | 32,000 | 482 | 468 | 476 | 98 | 154,200 | 30,900 | 148,900 | |
| 千 葉 (13) | 56,000 | 516 | 508 | 532 | 95 | 289,000 | 53,700 | 277,100 | |
| 東 京 (14) | 129 | 402 | 390 | 404 | 97 | 519 | 129 | 519 | |
| 神 奈 川 (15) | 3,040 | 470 | 454 | 478 | 95 | 14,300 | 3,040 | 14,300 | |
| 新 潟 (16) | 119,200 | 542 | 530 | 528 | 100 | 646,100 | 106,800 | 578,900 | |
| 富 山 (17) | 37,200 | 553 | 540 | 528 | 102 | 205,700 | 33,300 | 184,100 | |
| 石 川 (18) | 25,000 | 532 | 515 | 506 | 102 | 133,000 | 22,700 | 120,800 | |
| 福 井 (19) | 25,100 | 520 | 497 | 499 | 100 | 130,500 | 23,600 | 122,700 | |
| 山 梨 (20) | 4,890 | 541 | 526 | 533 | 99 | 26,500 | 4,810 | 26,000 | |
| 長 野 (21) | 32,000 | 620 | 609 | 607 | 100 | 198,400 | 30,900 | 191,600 | |
| 岐 阜 (22) | 22,500 | 482 | 473 | 478 | 99 | 108,500 | 21,400 | 103,100 | |
| 静 岡 (23) | 15,700 | 517 | 507 | 513 | 99 | 81,200 | 15,600 | 80,700 | |
| 愛 知 (24) | 27,500 | 499 | 490 | 499 | 98 | 137,200 | 26,600 | 132,700 | |
| 三 重 (25) | 27,300 | 477 | 465 | 489 | 95 | 130,200 | 26,900 | 128,300 | |
| 滋 賀 (26) | 31,700 | 509 | 498 | 506 | 98 | 161,400 | 30,200 | 153,700 | |
| 京 都 (27) | 14,400 | 505 | 495 | 501 | 99 | 72,700 | 13,800 | 69,700 | |
| 大 阪 (28) | 4,850 | 502 | 485 | 480 | 101 | 24,300 | 4,850 | 24,300 | |
| 兵 庫 (29) | 36,800 | 497 | 484 | 489 | 99 | 182,900 | 35,300 | 175,400 | |
| 奈 良 (30) | 8,490 | 515 | 502 | 500 | 100 | 43,700 | 8,450 | 43,500 | |
| 和 歌 山 (31) | 6,360 | 494 | 482 | 486 | 99 | 31,400 | 6,360 | 31,400 | |
| 鳥 取 (32) | 12,700 | 514 | 503 | 504 | 100 | 65,300 | 12,600 | 64,800 | |
| 島 根 (33) | 17,300 | 506 | 496 | 502 | 99 | 87,500 | 16,900 | 85,500 | |
| 岡 山 (34) | 30,100 | 517 | 503 | 514 | 98 | 155,600 | 29,300 | 151,500 | |
| 広 島 (35) | 22,700 | 499 | 487 | 515 | 95 | 113,300 | 22,200 | 110,800 | |
| 山 口 (36) | 19,300 | 474 | 461 | 492 | 94 | 91,500 | 18,400 | 87,200 | |
| 徳 島 (37) | 11,300 | 464 | 459 | 469 | 98 | 52,400 | 11,000 | 51,000 | |
| 早期栽培 (38) | 4,340 | 456 | 451 | 459 | 98 | 19,800 | ... | ... | |
| 普通栽培 (39) | 6,940 | 470 | 465 | 475 | 98 | 32,600 | ... | ... | |
| 香 川 (40) | 12,000 | 471 | 464 | 491 | 95 | 56,500 | 12,000 | 56,500 | |
| 愛 媛 (41) | 13,600 | 470 | 463 | 492 | 94 | 63,900 | 13,500 | 63,500 | |
| 高 知 (42) | 11,400 | 420 | 414 | 454 | 91 | 47,900 | 11,300 | 47,500 | |
| 早期栽培 (43) | 6,440 | 455 | 450 | 476 | 95 | 29,300 | ... | ... | |
| 普通栽培 (44) | 4,980 | 375 | 368 | 425 | 87 | 18,700 | ... | ... | |
| 福 岡 (45) | 35,000 | 454 | 433 | 477 | 91 | 158,900 | 34,500 | 156,600 | |
| 佐 賀 (46) | 24,100 | 298 | 291 | 503 | 58 | 71,800 | 23,700 | 70,600 | |
| 長 崎 (47) | 11,400 | 455 | 435 | 464 | 94 | 51,900 | 11,300 | 51,400 | |
| 熊 本 (48) | 33,300 | 483 | 466 | 497 | 94 | 160,800 | 32,300 | 156,000 | |
| 大 分 (49) | 20,600 | 435 | 407 | 480 | 85 | 89,600 | 20,400 | 88,700 | |
| 宮 崎 (50) | 16,100 | 465 | 451 | 482 | 94 | 74,900 | 14,600 | 67,900 | |
| 早期栽培 (51) | 6,300 | 459 | 450 | 470 | 96 | 28,900 | ... | ... | |
| 普通栽培 (52) | 9,780 | 469 | 452 | 490 | 92 | 45,900 | ... | ... | |
| 鹿 児 島 (53) | 19,500 | 454 | 440 | 468 | 94 | 88,500 | 18,300 | 83,100 | |
| 早期栽培 (54) | 4,370 | 438 | 427 | 435 | 98 | 19,100 | ... | ... | |
| 普通栽培 (55) | 15,200 | 458 | 444 | 478 | 93 | 69,600 | ... | ... | |
| 沖 縄 (56) | 677 | 295 | 293 | 306 | 96 | 2,000 | 665 | 1,960 | |
| 第一期稲 (57) | 506 | 331 | 330 | 359 | 92 | 1,670 | ... | ... | |
| 第二期稲 (58) | 171 | 188 | 184 | 159 | 116 | 321 | ... | ... | |

注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。□
2 10a当たり収量及び収穫量（子実用）は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
3 主食用作付面積とは、水稻作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
4 収穫量（子実用）及び収穫量（主食用）については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
5 （参考）の農家等が使用しているふるい目幅で選別された③10a当たり収量、④10a当たり平年収量及び⑤作況指数については、全国農業地域ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて9割を占めるまでの目幅（北海道、東北及び北陸は1.85mm、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80mm、四国及び沖縄は1.75mm）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。
6 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作期別の主食用作付面積は、備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

4 民間流通における6月末在庫の推移



資料：農林水産省調べ

注1：うるち玄米及びもち玄米の値である。

注2：各年の民間在庫量において、

① 平成16年以降については、年間玄米取扱数量500トン以上の業者（販売・出荷段階）の数量である。

② 平成15年については、

・ 販売段階の在庫量は、年間玄米取扱数量500トン以上の旧登録卸売業者と1,000トン以上の旧登録小売業者の数量である。

・ 出荷段階の在庫量は、年間玄米取扱数量500トン以上の業者の数量である。

③ 平成14年以前については推計値であり、

・ 販売段階の在庫量は、卸在庫量に小売在庫量（推計）を加えた数量である。

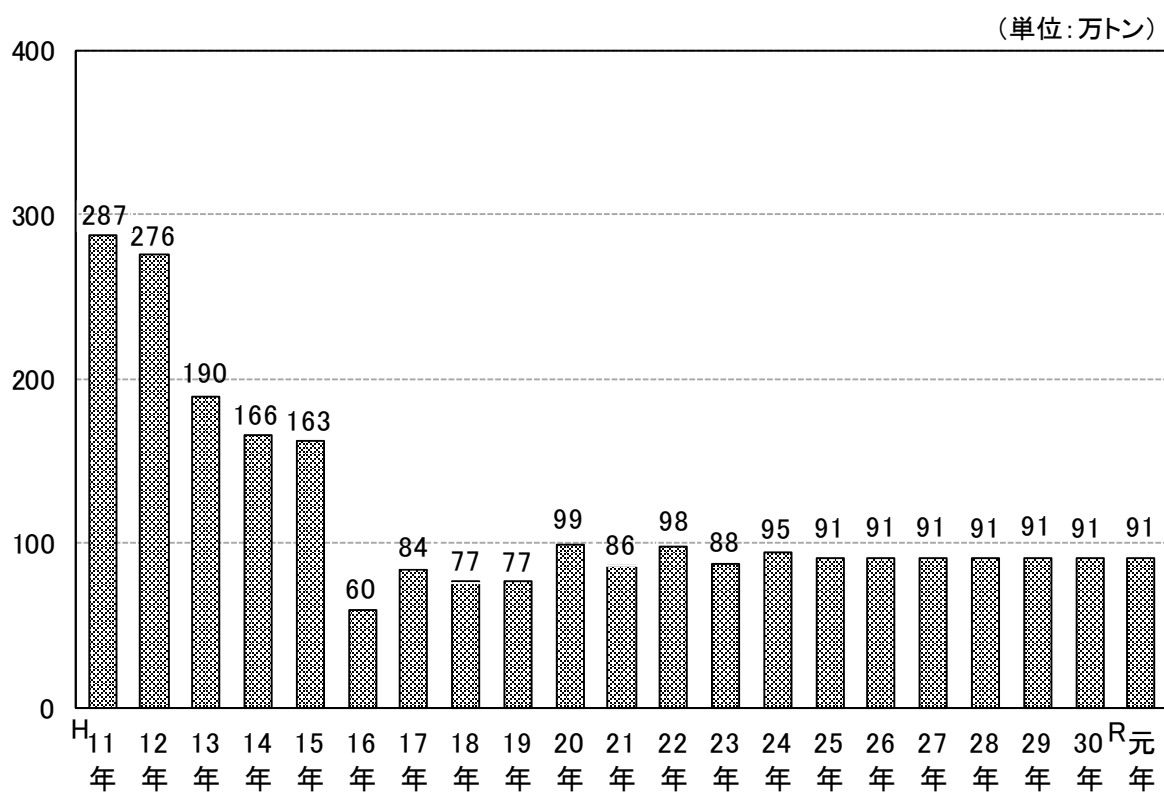
・ 出荷段階の在庫量は、系統在庫量に非系統在庫量（推計）を加えた数量である。

④ 生産段階の在庫量は、平成11年～平成21年は「生産者の米穀現在高等調査」を基に算出した在庫量から精米在庫量（推計）を控除した玄米在庫量であり、平成22年以降は「生産者の米穀在庫等調査」を基に算出した在庫量である。令和元年については、「生産者の米穀在庫等調査」の見直しに伴い、「利用上の注意」として、「時系列比較する場合等にあつては、これら変更点に留意されたい。」とされていることを踏まえ、過去のデータを用いたトレンドで算出した数量である。

注3：平成26年の出荷段階の在庫量は、公益社団法人米穀安定供給確保支援機構の買入数量35万トンを含んでいない。

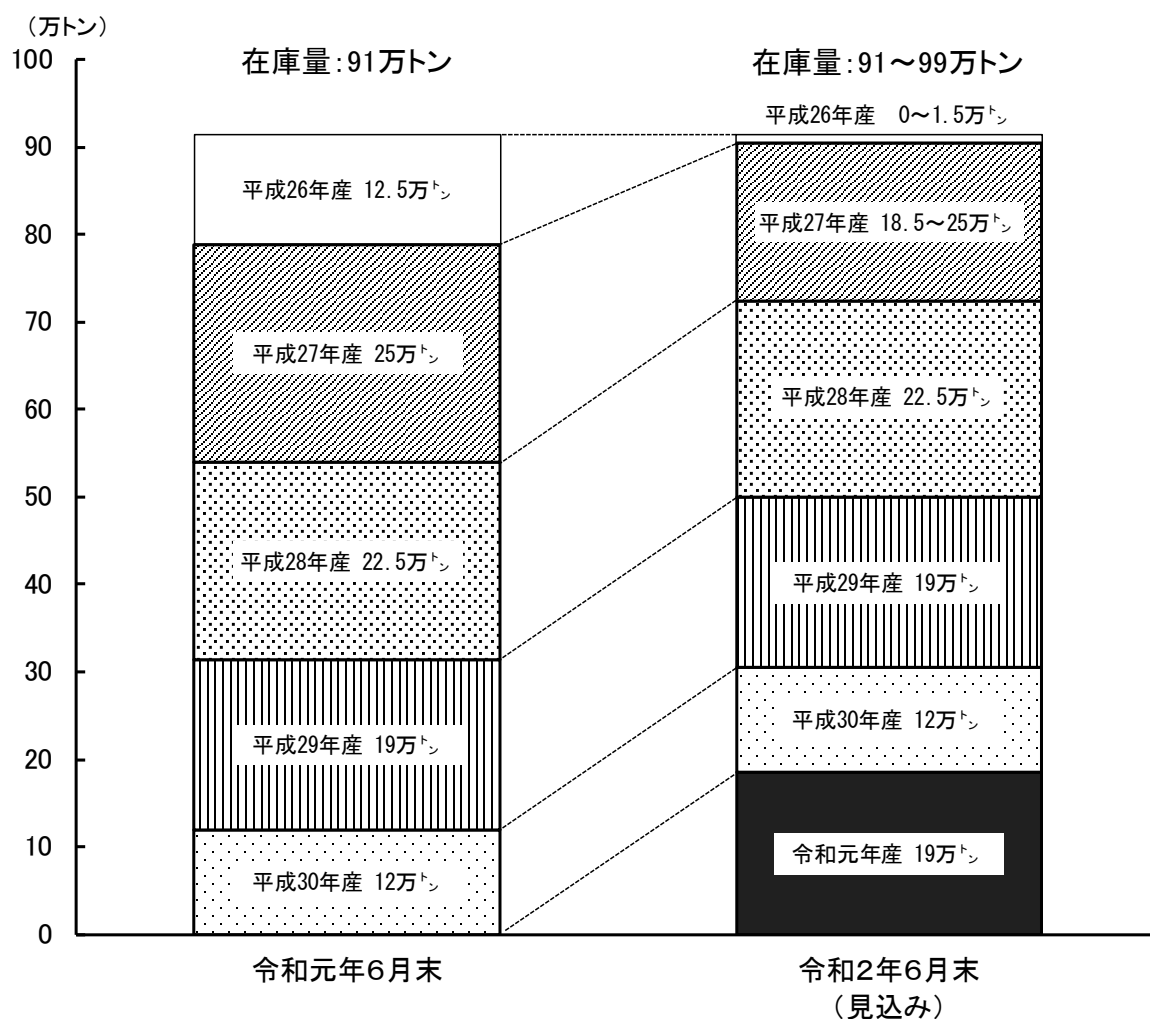
注4：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

5 政府備蓄米の6月末在庫の推移



注：国産うるち玄米の数量である。

6 政府備蓄米の在庫の状況（令和元年6月末現在）

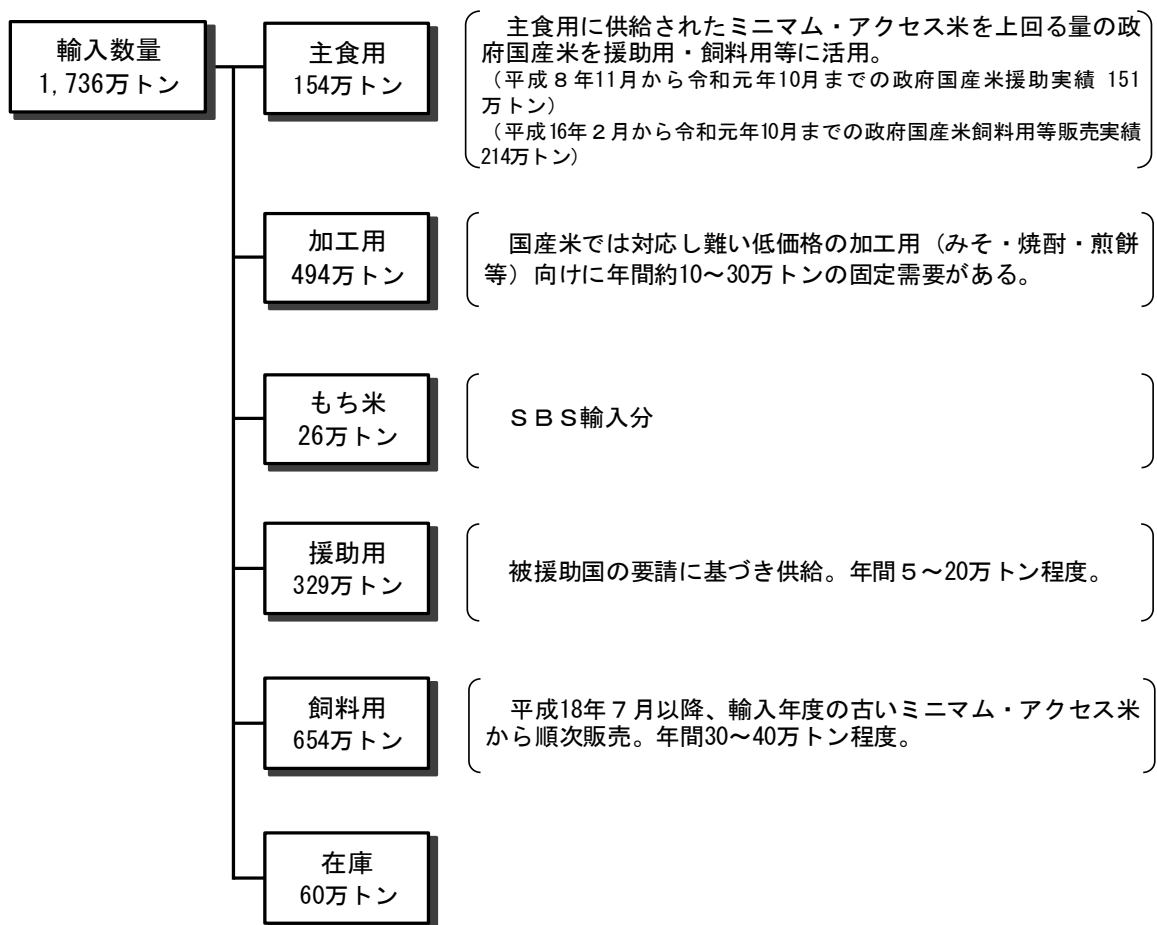


注1：国産うるち玄米の数量である。

注2：令和2年産の買入予定数量は、「備蓄運営の基本的な考え方」に即した場合、21万トンとなる。

また、令和3年6月末の政府備蓄米の在庫の状況（見込み）については、平成27年産は0～5.5万トン、平成28年産は20～22.5万トン、平成29年産は19万トン、平成30年産は12万トン、令和元年産は19万トン、令和2年産は21万トンの計91～99万トンとなる。

7 ミニマム・アクセス米の販売状況（平成7年4月から令和元年10月 末まで）（速報値）



資料：農林水産省調べ

注1：輸入数量は、令和元年10月末時点での政府買入実績である。

2：上記販売用途のほか、食用不適品として処理した4万トン、バイオエタノール用へ販売した16万トンがある。

3：在庫60万トンには、飼料用備蓄35万トンが含まれる。

4：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

○平成 25/26 年（平成 25 年 7 月から平成 26 年 6 月まで）

Table showing supply and demand data for fiscal years 2013/2014 and 2014/2015. Columns include: 25年6月末在庫 (25th June inventory), 25/26年供給量 (25/26 supply), 26年6月末在庫 (26th June inventory), and 全体需要量 (Total demand). Rows list various regions and cities like 北海道 (Hokkaido), 青森 (Aomori), 岩手 (Iwate), etc.

○平成 26/27 年（平成 26 年 7 月から平成 27 年 6 月まで）

Table showing supply and demand data for fiscal years 2014/2015 and 2015/2016. Columns include: 26年6月末在庫 (26th June inventory), 26/27年供給量 (26/27 supply), 27年6月末在庫 (27th June inventory), and 全体需要量 (Total demand). Rows list various regions and cities like 北海道 (Hokkaido), 青森 (Aomori), 岩手 (Iwate), etc.

○平成 27/28 年（平成 27 年 7 月から平成 28 年 6 月まで）

Table showing supply and demand data for fiscal years 2015/2016 and 2016/2017. Columns include: 27年6月末在庫 (27th June inventory), 27/28年供給量 (27/28 supply), 28年6月末在庫 (28th June inventory), and 全体需要量 (Total demand). Rows list various regions and cities like 北海道 (Hokkaido), 青森 (Aomori), 岩手 (Iwate), etc.

○平成 28/29 年（平成 28 年 7 月から平成 29 年 6 月まで）

Table showing supply and demand data for fiscal years 2016/2017 and 2017/2018. Columns include: 28年6月末在庫 (28th June inventory), 28/29年供給量 (28/29 supply), 29年6月末在庫 (29th June inventory), and 全体需要量 (Total demand). Rows list various regions and cities like 北海道 (Hokkaido), 青森 (Aomori), 岩手 (Iwate), etc.

○平成 29/30 年（平成 29 年 7 月から平成 30 年 6 月まで）

○平成 30/令和元年（平成 30 年 7 月から令和元年 6 月まで）

(単位:トン)

| | 29年6月末在庫 ① | 29/30年供給量 ② | 30年6月末在庫 ③ | 全体需要量 ④=①+②-③ |
|-------|---------------|----------------|---------------|------------------|
| 全 国 | 1,994,000 | 7,306,000 | 1,904,000 | 7,396,000 |
| 北海道 | 171,252 | 552,663 | 207,788 | 516,128 |
| 青 森 | 83,350 | 226,252 | 91,573 | 218,029 |
| 岩 手 | 90,985 | 250,815 | 79,743 | 262,058 |
| 宮 城 | 121,126 | 339,717 | 108,904 | 351,940 |
| 秋 田 | 125,772 | 400,054 | 126,438 | 399,388 |
| 山 形 | 118,490 | 337,311 | 97,196 | 358,606 |
| 福 島 | 129,363 | 327,715 | 126,141 | 330,936 |
| 茨 城 | 67,382 | 348,759 | 69,838 | 346,302 |
| 栃 木 | 97,343 | 273,107 | 91,244 | 279,206 |
| 群 馬 | 21,611 | 69,167 | 24,771 | 66,007 |
| 埼 玉 | 24,355 | 151,573 | 24,068 | 151,860 |
| 千 葉 | 44,353 | 289,934 | 51,819 | 282,468 |
| 東 京 | 95 | 580 | 75 | 600 |
| 神奈川 | 2,388 | 15,700 | 2,296 | 15,792 |
| 新 潟 | 163,221 | 526,719 | 119,051 | 570,889 |
| 富 山 | 51,731 | 181,950 | 38,983 | 194,697 |
| 石 川 | 30,344 | 120,201 | 23,772 | 126,774 |
| 福 井 | 29,325 | 122,718 | 25,987 | 126,056 |
| 山 梨 | 6,600 | 26,820 | 5,549 | 27,872 |
| 長 野 | 49,304 | 196,301 | 46,919 | 199,286 |
| 岐 阜 | 26,828 | 104,909 | 25,733 | 106,004 |
| 静 岡 | 12,743 | 80,319 | 10,662 | 82,400 |
| 愛 知 | 28,979 | 136,819 | 30,111 | 135,688 |
| 三 重 | 20,381 | 128,853 | 17,073 | 132,161 |
| 滋 賀 | 33,327 | 155,283 | 27,350 | 161,260 |
| 京 都 | 15,387 | 72,208 | 13,729 | 73,866 |
| 大 阪 | 6,113 | 26,079 | 5,951 | 26,241 |
| 兵 庫 | 36,481 | 175,992 | 35,352 | 177,100 |
| 奈 良 | 2,318 | 44,774 | 10,019 | 44,074 |
| 和 歌 山 | 27,724 | 33,298 | 2,641 | 33,432 |
| 鳥 取 | 17,952 | 64,455 | 20,458 | 61,946 |
| 島 根 | 18,253 | 88,875 | 18,015 | 99,214 |
| 岡 山 | 33,381 | 157,781 | 40,198 | 150,973 |
| 広 島 | 30,272 | 123,665 | 25,116 | 128,821 |
| 山 口 | 22,545 | 100,790 | 23,848 | 99,487 |
| 徳 島 | 9,556 | 53,866 | 7,648 | 52,174 |
| 香 川 | 14,052 | 61,772 | 12,214 | 63,609 |
| 愛 媛 | 12,640 | 70,347 | 11,038 | 71,949 |
| 高 知 | 8,621 | 54,172 | 8,053 | 54,739 |
| 福 岡 | 43,543 | 178,897 | 39,220 | 183,219 |
| 佐 賀 | 36,001 | 129,646 | 43,330 | 122,317 |
| 長 崎 | 10,597 | 57,297 | 9,389 | 58,504 |
| 熊 本 | 44,393 | 169,593 | 42,642 | 171,344 |
| 大 分 | 18,594 | 105,623 | 18,989 | 105,227 |
| 宮 崎 | 13,518 | 74,911 | 11,533 | 76,896 |
| 鹿 児 島 | 19,847 | 95,280 | 18,718 | 96,409 |
| 沖 縄 | 118 | 2,190 | 108 | 2,200 |

(単位:トン)

| | 30年6月末在庫 ① | 30/元年供給量 ② | 元年6月末在庫 ③ | 全体需要量 ④=①+②-③ |
|-------|---------------|---------------|--------------|------------------|
| 全 国 | 1,904,000 | 7,327,000 | 1,885,000 | 7,346,000 |
| 北海道 | 207,788 | 489,463 | 190,891 | 506,359 |
| 青 森 | 91,573 | 235,311 | 85,350 | 241,534 |
| 岩 手 | 79,743 | 265,089 | 81,486 | 263,346 |
| 宮 城 | 108,904 | 356,421 | 106,570 | 358,754 |
| 秋 田 | 126,438 | 420,403 | 110,080 | 436,760 |
| 山 形 | 97,196 | 328,731 | 80,862 | 345,065 |
| 福 島 | 126,141 | 343,100 | 120,231 | 349,010 |
| 茨 城 | 69,838 | 349,717 | 65,349 | 354,206 |
| 栃 木 | 91,244 | 301,284 | 97,110 | 295,417 |
| 群 馬 | 24,771 | 69,953 | 24,149 | 70,575 |
| 埼 玉 | 24,068 | 150,626 | 21,177 | 153,517 |
| 千 葉 | 51,819 | 291,703 | 47,929 | 295,593 |
| 東 京 | 75 | 555 | 73 | 567 |
| 神奈川 | 2,296 | 15,200 | 2,147 | 15,349 |
| 新 潟 | 119,051 | 556,970 | 113,051 | 562,969 |
| 富 山 | 38,983 | 184,666 | 38,605 | 185,044 |
| 石 川 | 23,772 | 120,157 | 27,357 | 116,573 |
| 福 井 | 25,987 | 125,074 | 31,944 | 119,117 |
| 山 梨 | 5,549 | 26,179 | 5,763 | 25,965 |
| 長 野 | 46,919 | 193,794 | 40,181 | 200,532 |
| 岐 阜 | 25,733 | 102,865 | 21,875 | 106,722 |
| 静 岡 | 10,662 | 79,312 | 10,275 | 79,699 |
| 愛 知 | 30,111 | 133,998 | 26,477 | 137,231 |
| 三 重 | 17,073 | 135,450 | 20,244 | 132,279 |
| 滋 賀 | 27,350 | 154,818 | 33,341 | 148,827 |
| 京 都 | 13,729 | 70,131 | 12,355 | 71,506 |
| 大 阪 | 5,951 | 24,678 | 5,198 | 25,443 |
| 兵 庫 | 35,352 | 178,726 | 34,427 | 179,651 |
| 奈 良 | 10,019 | 43,880 | 9,883 | 44,016 |
| 和 歌 山 | 2,641 | 31,600 | 2,230 | 32,011 |
| 鳥 取 | 20,458 | 83,259 | 19,288 | 85,439 |
| 島 根 | 18,015 | 90,341 | 18,339 | 90,018 |
| 岡 山 | 40,198 | 152,746 | 37,395 | 155,549 |
| 広 島 | 25,116 | 120,476 | 25,115 | 120,477 |
| 山 口 | 23,848 | 98,727 | 24,936 | 97,639 |
| 徳 島 | 7,648 | 52,530 | 6,814 | 53,384 |
| 香 川 | 12,214 | 59,684 | 13,223 | 58,675 |
| 愛 媛 | 11,038 | 68,951 | 10,385 | 69,604 |
| 高 知 | 8,053 | 50,323 | 6,495 | 51,882 |
| 福 岡 | 39,220 | 180,498 | 40,680 | 179,039 |
| 佐 賀 | 43,330 | 127,590 | 41,719 | 129,201 |
| 長 崎 | 9,389 | 57,325 | 9,794 | 56,919 |
| 熊 本 | 42,642 | 171,109 | 46,709 | 167,041 |
| 大 分 | 18,989 | 103,035 | 18,279 | 103,745 |
| 宮 崎 | 11,533 | 72,581 | 11,695 | 72,418 |
| 鹿 児 島 | 18,718 | 87,854 | 21,066 | 85,507 |
| 沖 縄 | 108 | 2,200 | 466 | 1,842 |

注 1：平成 22/23 年の都道府県別の需要量に、以下のものは含まれていない。

- ① 公益社団法人米穀安定供給確保支援機構の市場隔離数量 17 万トン
- ② 地震・津波被害分 2 万トン
- 2：平成 23/24 年の福島県の需要量に、平成 23 年産米を対象に実施された特別隔離対策による市場隔離数量（1.7 万トン）は含まれていない。
- 3：平成 24/25 年の備蓄米代替供給量 4 万トンは都道府県別の需要量には含まれていない。
- 4：平成 25/26 年の 26 年 6 月末在庫には、公益社団法人米穀安定供給確保支援機構の買入数量 35 万トンが含まれている。
- 5：全国欄は、産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、都道府県の合計と一致しない。なお、全国欄は、平成 24/25 年から千トン未満を四捨五入している。
- 6：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。